

# 愛敬重之

2015年7月6日  
第33期\_後援会40号  
発行責任者：愛敬重之後援会  
会長 伊藤 久志



## 後援会だより

新病院施設整備事業費199億4千万円に

【参考】新病院の実施設計のイメージ

建設予定地【現在：桑名東医療センター付近】



皆さんこんにちは。

後援会の皆様には日頃からあたたかいご支援をいただき感謝申し上げます。

6月8日に臨時会が開会され会派を代表して議案質疑（議案に対する質疑）を実施しました。質疑の項目は、皆様も関心が高いかと思えます桑名市総合医療センター施設整備事業についてです。答弁内容やこれからの病院経営等ご覧ください。

### ① 臨時会招集の理由について（①～⑦まですべて答弁：保健福祉部理事）

昨年12月の桑名市総合医療センター施設整備事業の入札不調後、総合医療センターと市において協議・検討を行ってきた。その結果、現計予算のままで大幅な設計見直しを行い工事契約することは、相当な時間を要し、病院の経営上困難と判断した。総合医療センターから「事業費の増額」と「工事期間の見直し」の申し入れがあった。市としても、「事業費の増額」と「工事期間の見直し」をお願いすることが必要と判断し、必要となる予算を一日でも早く計上し、新病院の建設をできる限り早く着手するため、臨時会で審議をお願いすることとなった。

### ② 工事請負者の確保について

今臨時会で承認もらった後、速やかに契約手続きを行う。契約に当たっては総合医療センターでは、随意契約も視野にいれて考えており、法定にも問題は無いと判断している。

### ③ 国からの財政支援について

国では、新たに、本年4月10日付けで新公立病院改革プランに基づく公立病院再編・ネットワーク化にかかる財政措置が整備された。平成27年度から新公立病院再編・ネットワーク化にかかる施設・設備のため借入れる病院事業債については、地方交付税措置として元利償還金の40%が算入されることとなっている。今後の更なる財政支援の可能性については、今のところは伺っていないが、今後もアンテナを高くし情報収集に努めていきたいと考える。

#### ④ 市民への説明について

市及び総合医療センターのホームページや「総合医療センターニュース」、地元説明会などにより周知を図っていききたいと考える。また、患者様や周辺自治会や学校、警察消防関係などへの説明や周知は十分に図っていききたいと考える。

#### ⑤ 工期延長の理由について

平成26年1月の資料では工期は20カ月だったが、昨年12月の入札時の工期は、27.5カ月となっている。入札結果を受け、総合医療センターにおいて、事業者に対し工期を含めたヒアリングを行った。そのヒアリングの中で事業者から、技術管理者の配置や各種職人の確保に時間を要することが判明した。設定をする工事期間は必要であると判断した。

#### ⑥ 既存棟の改修及び解体を含む新病院整備にかかる全工程と総事業費について

昨年の2月に開催しました臨時会において新病院整備事業の総事業費 174 億6千万円余を承認してもらっている。そのうち、改修費を含めた工事費としては、121 億2千万円余。改修費については、現時点では予算の範囲で進めたいと考えているが、今回の3工種の入札結果から判断すると、増額をお願いすることも想定される。今回の総事業費には、病院の解体に要する費用、立体駐車場の整備に要する費用は含まれていない。なお、病院の解体及び立体駐車場の整備の実施に関しては、新棟完成後順次進めていく。

#### ⑦ 完成後の経営計画及び収入の確保に対する市の考え方について

医療面の増収要素については、これまでの各医療センターに備えられていない医療機能で、「ICU（特定集中治療室）」4床の稼働、「NICU（新生児特定集中治療室）」6床の稼働、「放射線治療（リニアック）」年間に100人、「核医学検査（スペクト）」年間に600人の見込み増収要素としている。また、室料差額収入については、現在の東、西、南医療センターにおける平成24年度から平成26年度の1日当たりの平均入院数は合計332人で、新病院の病床数は400床であり、その病床数として換算すると83%の稼働率となる。現在、名古屋方面や四日市方面に流出している患者様もいることから、計画している90%は決して過大な設定していないと判断している。したがって、今回、5,000円から12,000円の範囲で室料を設定し、病床稼働率90%と想定し室料算定をしている。いずれにしても可能な範囲での設定と考えている。

#### ★ 平成26年12月10日執行の入札結果

工種 事業者名

建築：戸田建設株

電機：東光・川瀬特定建設工事共同企業体

機械：川崎・シブヤ特定建設工事共同企業体 三工種での入札差額は32億4千万円でした

その後、事業者に対して、仕様の変更など設計の見直しを含めた、VE・CD提案による事業費削減の協議により差額は、24億8千万円となり、新病院整備事業費は174億6千万円から199億4千万円となります。

#### ★ 新病院整備後の増収要素

##### 1. 医療面の増収要素

○ICU（特定集中治療室）113百万円/年

○NICU（新生児特定集中治療室）83百万円/年

○放射線治療（リニアック）初年度24百万円/年 2年目以降34百万円/年

○核医学検査（スペクト）28百万円/年

##### 2. 設備面の増収要素

項目	収入増	備考
室料差額収入	260百万円/年	有料個室103室×稼働率90%
食堂加算	36百万円/年	1床あたり0.5㎡の食堂スペースの設置

#### ★ スケジュール

平成27年7月 工事請負契約締結（3工種）

8月 準備工開始

11月 本工事開始

平成30年1月 竣工 4月 新病院開院

愛敬重之公式HP：<http://www.aikyo-kuwana.net/>

JAM組織内議員「藤川 しんいち」さん  
を応援しましょう！！

